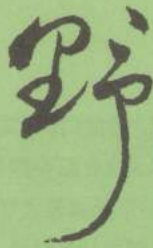
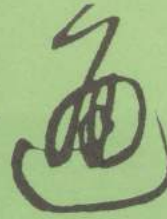




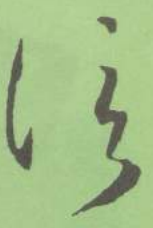
Kyoto Seika University was founded in 1968. It started out with high ideals that broke the mold of old Japanese universities. Kyoto Seika University is the place where teachers, students and all others are respected as human beings, and where the spirit of freedom and autonomy prevails. Although it is a small university, it is known for producing graduates who are unique and independent. From now on, in order to improve and develop this university, we



will continue to believe in these ideals. Kyoto Seika University consists of two faculties: Humanities and Art. The Faculty of Humanities uses educational philosophy of experiential, intercultural, and interdisciplinary approach to study broadly various peoples and cultures. The main purpose is to gain a deep understanding of living people's societies and cultures as a whole. The faculty of Art not only teaches skills and techniques but also cultivates insight



into Humanity. While considering the basic question of what is Art to humans, we search for true art expression. Kino Press is a newsletter published by Kyoto Seika University and distributed to students, faculty, administrators, graduates and other members of the university community. This publication is intended to keep readers informed of all aspects of K.S.U.'s development, including on-campus events, personnel changes and student news.



KINO PRESS
KYOTO SEIKA UNIVERSITY
NO.31

木野通信 第31号 1999年5月10日発行
京都精華大学情報館文化情報課
〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137
TEL 075-702-5343

若者の実力が時代をつくる
——京都精華大学の新学科構想——

学長
中尾ハジメ NAKAO Hajime

2000年4月から二つの新学科をスタートさせる計画で、現在設置認可申請中です。人文学部には「環境社会学科」を、また美術学部には、現在のカートゥーン中心のマンガ分野をもとにしながらストーリー・マンガの領域を大きくとりいれ「マンガ学科」を設置する予定です。

「環境社会学科」も、「マンガ学科」も、大学での本格的な教育と研究が強く求められている現代社会の大きな課題をその対象としています。地球規模での環境問題は、いうまでもなく人間の社会と文化の作りだす問題です。科学技術に焦点をあてるだけでは決して解決に向かうことはありえません。偏狭な道徳主義をふりかざすだけでもなにも改善しないでしょう。また、これからの世代が作りだす現実の社会の姿としてしか、この問題への答えは存在しません。そういった方向へと進むことができるような社会的・人文学的な教育と研究の活動が、この「環境社会学科」の目標です。

マンガはこれまで、ある意味で不当な扱いしか受けてこなかった、しかしぎわめて大きな実力を発揮しつつある芸術ジャンルです。とりわけ日本におけるマンガ文化の発展は、種々のメディア技術の進化とあいまって世界から重大な関心をあつめています。世界のアニメーションの70パーセント、テレビ・ゲームは90パーセントが日本製であるといわれています。日本で育った人であれば、自分の世界観や感性のどれほどがマンガやアニメーションによって培われたかを思いだすことができるはずで、なにより日本のマンガは思想的タブーの少ない表現メディアでした。フランス革命の時代に風刺画がはたした以上の大きな社会意識上の役割をマンガがはたしつつあることをだれも否定できません。このマンガの、さらに高い質的な発展のための活動が、この「マンガ学科」の目標です。

どちらの学科も、若い世代の人間が次の時代をきり拓くために、大学に求められているものです。カリキュラムの計画にも、学生が主体的にこの課題に参加していくよう、いっそうの工夫を加えました。木野通信のこの号では、この新学科計画の紹介に焦点をあわせました。



認可
申請中

人文学部
Department of Environmental and Social Studies

環境社会学科

芸術学部
Department of Cartoon and Comic Art

マンガ学科

2000年4月開設

新しい世紀を目前にし、文化・芸術・社会・経済…あらゆる領域において時代は大きな転換期を迎えている。いま、この新しい時代の到来に際して、京都精華大学も大きな飛躍をはじめ。

人文学部に環境社会学科、美術学部にマンガ学科を開設することを決定。この4月、文部省に申請書類を提出し、受理された。12月に設置認可が下りれば、いよいよ、2000年4月から開設となる。

現代世界が直面する環境問題という課題に、人間と社会の観点からアプローチする環境社会学科。日本のみならずはや世界を席卷する文化の新潮流マンガを、一コマ漫画からアニメまで幅広く対象とするマンガ学科。ともに、他大学にはない日本ではじめての学科となる。まさに京都精華大学にふさわしい、新しい知と文化の領域をきりひらく学科として、各界の期待が集まっている。

また、新学科開設に連動して、学内の様々な分野でもプロジェクトが始動し、大学全体が大きく変わる。

京都精華大学の新しい歴史がはじまる。
(申請中につき、本号に掲載されている新学科の内容は全て予定です)



新しい世紀に向けて京都精華大学が大きく変わる

新メンバーの参加で 教員陣を強化

新学科の開設にともない、多くの教員スタッフが新たに本学に参加することになる。

環境社会学科では10名の新しい専任教員を予定。大学人ばかりでなく、自治体や民間企業などの現場で環境問題にたずさわってきた人材が多い点が注目される。

マンガ学科も、第一線の現役マンガ家、マンガ誌編集者ら4名を予定。

既成の大学の枠組みを超える新しい教育が展開される。

留学生、社会人が増え、 学生も多様化

これまでも本学は、全学生に対して留学生の割合が高いことで知られていたが、新学科では、これまで以上に多くの留学生を迎え入れることを方針としている。国際交流課を中心に、留学生寮の設置など受入態勢の充実も進んでいる。

また同様に、社会人学生の受け入れも推進する。マンガ学科では学生の1/5、環境社会学科では1/7が留学生・社会人となる予定。

多様な学生が出会う、刺激的なキャンパスへの変容が期待できる。

ISO14001 取得で 環境キャンパスに

環境社会学科が開設する2000年をめぐりに、国際環境規格ISO14001の取得に向けた準備が進められている。企業や学校などが、継続的に環境改善に取り組むための環境マネジメントシステムの国際規格がISO14001。

本学構成員全員が、環境問題の主体として地球環境に対する負担を減らす活動に取り組む。

またISO14001キャンパスとなることによって、環境関連資格の取得に向けたプログラムも実施可能になる。

美術学部を「芸術学部」に 名称変更

美術学部の学部名称が、2000年4月から「芸術学部」に変更される。

2000年4月には、マンガ学科の開設とともに、ビジュアルコミュニケーションデザイン分野でも再編がおこなわれる。

このことによって、学部は、狭い意味での「美術」の枠組みを超えて、従来より広範な領域を包含することとなる。

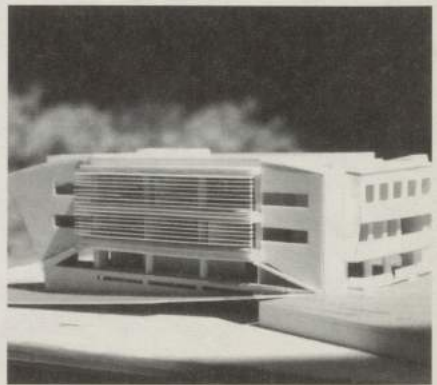
「芸術学部」となることによって、ますます多様で柔軟な展開をめざす。

最新設備をそなえる 新しい美術実習棟建設

これまで6号館と呼ばれていた建物を建て替え、新しい美術実習棟の建設が進んでいる。2000年3月には完成の予定。

新実習棟は地下1階、地上3階の4階建てで、洋画、立体造形、版画、テキスタイル分野の実習室に加え、マンガ学科の実習室及びコンピューター室が入る。コンピューター室にはMac40台、Windows40台が設置される。

CGはもちろん3Dアニメ制作にも対応する最新マルチメディア施設だ。



人文学部 環境社会 学科

人間と社会の観点からの新しいアプローチ。 環境社会学科は実践的に人類の未来へ貢献する。

全地球的規模で人類の課題として取り組みが要請されている環境問題。その文化的社会的全体像を理解し、解決への方法論を実践的に学ぶのが環境社会学科である。

「環境」の名前を冠した学部/学科を有する大学は最近増えているが、その大半は、技術的に環境問題を制御しようとする理系のものであった。日本で初の設置となる環境社会学科は、環境問題を人間と社会の側からとらえるのが大きな特色となっている。

現在の社会のあり方をラジカルに問い直し、未来への希望を継承するために、新しい人間観を提案する。

環境社会コース

環境社会コースでは、循環と共生を可能とする社会建設に、政策的観点からアプローチする。オゾン層破壊や地球温暖化などに取り組む国際機関や各国政府の施策から、地域に密着した自治体行政まで、さまざまな次元の環境計画/地域計画とその実際を学ぶ。また市民環境組織の運動も視野に入れている。

環境マネジメントコース

環境マネジメントコースでは、企業や自治体・教育機関など組織・団体、また家庭が、環境保全のためのマネジメントを継続して実行するシステムについて学ぶ。環境目標を定め、実行、結果を評価し改善する——という一連の流れをシステムとして構築する知識とともに、各段階における具体的・実践的方法論を習得する。

環境文化コース

環境文化コースでは、環境問題にかかわる生活と意識の変革、新しい価値観の創造をめざして、循環と共生のための生活様式を探索する。また、学校をはじめとして、家庭・職場・地域など多様な場における環境教育・自然環境の方法論をつくりあげる。ジャーナリズムという観点からもアプローチする。



入試日程/内容は申請中につきは未定です。入試要項を請求の上、確認ください。(入試広報課フリーダイヤル 0120-075-017)

芸術学部 マンガ 学科

日本で初めてのマンガ学科は、あらゆるメディアで マンガ表現を展開。時代の先端をきりひらく。

マンガは、現代社会においてきわめて大きな広がりや影響力を持つメディア芸術である。国内総出版物の半数近くを占めるほどの社会的支持を受け、ひとびとの世界観・人間観の形成に重要な関わりを持つ。また国内のみならず海外においても高い評価を得る国際性をも有している。

しかし、大学教育の場において、これまで正当な評価と位置を与えられていたとは言いがたかった。そのような状況にあって、京都精華大学では、いち早く日本で唯一マンガ専攻を設置し、美術教育として展開してきた実績を誇っている。

マンガ学科は、これまでのアートとしてのマンガを基盤に、ますます拡大と深化をつけ、多様化するマンガの現在に対応するものである。

一コマ漫画から、アニメ、ゲームまで、総合的にマンガ表現を対象とする、かつて例のない、時代の先端をきりひらく学科である。

ストーリー・マンガ・コース

ストーリー・マンガ・コースは、コマによって展開するストーリー・マンガを中核にすえつつも、そこから多様に発展したマンガ世界の総体を対象とする。

アニメ・ゲーム・コンピューターグラフィックス・キャラクターデザインなども視野に入れ、ジャンルを限定することなく、種々のメディアを総合的に活用する表現をつくっていく。こうした時代的要請にも応えられるよう、コンピューター教育も重視している。

社会的に即戦力として通用するプロを養成することを明確に志向し、完全に実践的な内容で構成する。

カートゥーン・コース

カートゥーン・コースは、芸術として完成度の高い作品制作を追求する。そのため、基礎となる絵画技術の習得に徹底して取り組む。動物、人物、自然物のデッサンを重点的に展開するなかから、自分自身の線や色を獲得していく。また「デフォルメ」という本質的手法によってマンガ作品へと完成させる。

一方、ユーモアを基盤にしてメッセージをはらんだ芸術としてマンガを位置づける立場から、ユーモア感覚、社会批評、風刺の精神を涵養することも重視している。また、イラストレーション、絵本の制作もおこなう。



環境社会学科 カリキュラム概要

学際的アプローチで環境問題の総体を実践的に学ぶ

環境社会学科のカリキュラムは、人文学部の「学際主義・国際主義・体験主義」を踏まえ、既成の学問領域にとらわれない、現実の諸問題に対応した多様な科目で構成されている。

1・2年次には、環境問題の基本知識や調査・分析の具体的な方法を学ぶ「専門基礎科目」が置かれている。総合的な視野の獲得と学問研究の基礎技法に焦点を合わせる「環境社会学基礎」、実証的な議論の基礎づけに欠かせない統計技法を習得する「社会統計学」、コンピューターによる情報処理技能の向上を目的とする「環境情報処理」によって構成されている。

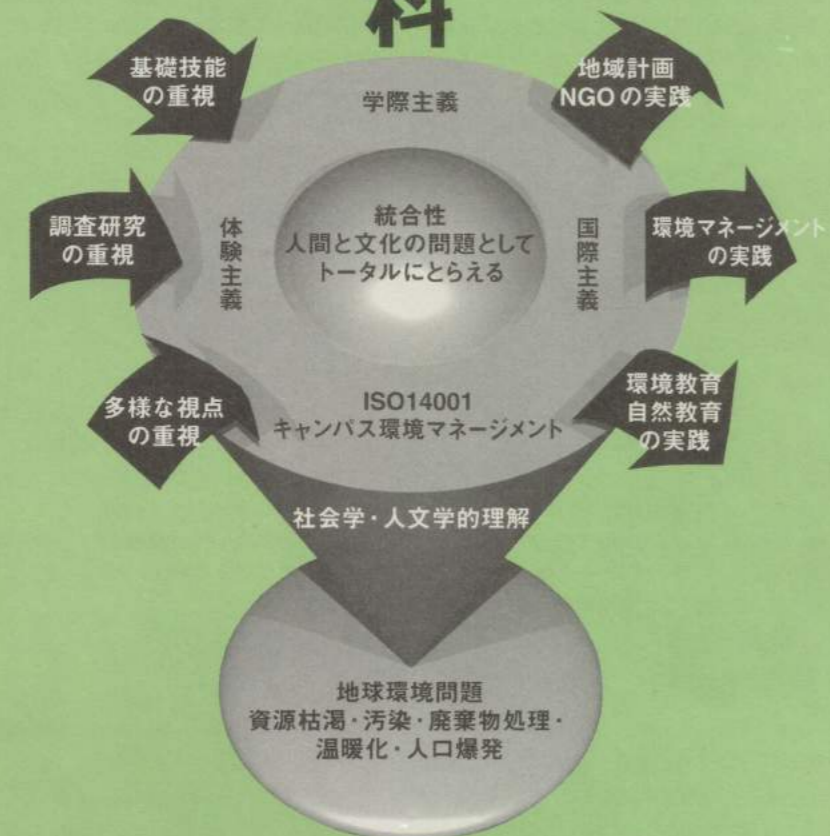
また「総合科目」においては、「環境社会学」「民族と環境」などによる社会的・文化的側面と、「生態学」「自然誌」などによる自然科学的側面の、両面からのアプローチにもとづいて、環境問題のトータルな把握をこころみる。

2年次後期からは、コースに対応した科目を中心に履修することとなる。コース科目は、地域計画、環境行政の推進および、市民環境組織への寄与を目的とする「環境社会科目」、家庭、地域、企業などでの環境マネジメントの推進を目的とする「環境マネジメント科目」、一般社会における意識の向上、環境教育の場の開拓、新たなライフスタイルの可能性の探求を目指す「環境文化科目」の3つに分かれている。

そのかわり、環境現場での継続的な調査研究を行う「調査演習」や、企業や自治体でのインターンシップ科目「環境実務

研修」などを通じて、体験的に学習する。

4年次には、各コースで身につけた視点を「総合環境論演習」で多角的に再検討する機会を経て、「卒業論文」としてまとめる。



Department of Environmental and Social Studies

環境教育や自然教育の方法を習得することで、環境カウンセラー、自然指導員、森林インストラクター等。また、環境問題の専門家として求められる各種の資格も取得できるよう準備する方針である。

具体的には、各コースに次のような進路が考えられる。
・環境社会コース
自治体、環境コンサルタント企業、NGOでの地域計画プランナー等。
・環境マネジメントコース
企業や自治体での環境マネジメント業務、環境監査関連業務等。
・環境文化コース
環境教育や自然教育の方法を習得することで、環境カウンセラー、自然指導員、森林インストラクター等。

「専門基礎科目」
環境社会学基礎
社会統計学
環境情報処理
〔総合科目〕
環境思想概論
環境と国際関係
環境経済学
公害史
民族と環境
自然景観論
生態学
〔環境社会科目〕
環境NGO論
地域計画論

「専門共通科目」
調査演習
環境実務研修
卒業論文
ほか

現場を重視する豊富な体験学習プログラム

人文学部では現地での体験学習の手法を多く取り入れてきたが、環境社会学科においてもその方針は踏襲され、多様な体験学習プログラムが準備されている。

「調査演習」は、重大な環境問題が生じている場所、市民団体など環境問題に取り組む現場、豊かな自然が残っているが過疎で悩んでいる地域などに長期間にわたって通い、現地・現場の人々と直接接し、調査・研究を行うプログラム。

例えば、琵琶湖をフィールドとする湖の生態系と漁民の生活の調査、大阪など大都市のゴミ処理政策の実態調査などが考えられる。また、必ずしも遠くへ出かけていく必要はなく、大学キャンパスなど自分の足元に着眼した調査もありうる。

3年次の夏休みを利用して2週間程度、民間企業や自治体、環境NGOなどにかける「環境実務研修」は、いわゆるインターンシップ。各組織・団体における環境活動を手伝いながら研修を行う。民間企業については、環境マネジメントシステムの構築や環境内部監査について研修する。自治体やNGOについては、循環と共生の地域づくり計画やライフスタイルの実現についてを研修する。

また、現在、人文学部で実施している海外フィールドワーク・プログラム(アメリカ、オーストラリア、タイの3ヶ国)は環境社会学科との共通プログラムとなる。

科目一覧

科目一覧

〔専門基礎科目〕 環境社会学基礎 社会統計学 環境情報処理 〔総合科目〕 環境思想概論 環境と国際関係 環境経済学 公害史 民族と環境 自然景観論 生態学 〔環境社会科目〕 環境NGO論 地域計画論	環境政策論 環境マネジメント 環境監査 環境家計簿 〔環境文化科目〕 ライフ・スタイル論 環境教育論 環境ジャーナリズム ほか
〔専門共通科目〕 調査演習 環境実務研修 卒業論文 ほか	環境政策論 環境マネジメント 環境監査 環境家計簿 〔環境文化科目〕 ライフ・スタイル論 環境教育論 環境ジャーナリズム ほか
〔共通専門科目〕 デッサン デザイン 絵画技法 制作実習 CG基礎演習	環境政策論 環境マネジメント 環境監査 環境家計簿 〔環境文化科目〕 ライフ・スタイル論 環境教育論 環境ジャーナリズム ほか
〔専門講義科目〕 マンガ史概論 風刺画論 脚本概論 編集概論 メディア史 現代メディア文化論 現代マンガ論 比較マンガ論 作品批評 〔共通専門科目〕 デッサン デザイン 絵画技法 制作実習 CG基礎演習	環境政策論 環境マネジメント 環境監査 環境家計簿 〔環境文化科目〕 ライフ・スタイル論 環境教育論 環境ジャーナリズム ほか
CG演習 アニメーション演習 現代メディア文化論演習 マンガ制作実務演習 マンガ制作実務研修 自由制作 批評演習 卒業制作 〔ストーリーマンガ専門科目〕 脚本演習 編集演習 〔カートゥーン専門科目〕 イラストレーション演習 風刺画演習	環境政策論 環境マネジメント 環境監査 環境家計簿 〔環境文化科目〕 ライフ・スタイル論 環境教育論 環境ジャーナリズム ほか

大学の枠を超えてプロの仕事に触れる体験プログラム

マンガを社会性の強い現代のメディア芸術と位置づけるマンガ学科では、徹底して大学外部の視点を導入、社会に通用する表現の形成をめざしている。

3年次に実施される「マンガ制作実務研修」は、学外の現場においてプロの仕事に直接体験するインターンシップ・プログラム。マンガ家アシスタント、出版社マンガ誌編集部、アニメ制作プロダクション、ゲームソフト開発企業などが実務現場として検討されている。学生個々の専攻や自分の将来を見つけるためにも、実社会の仕事を通じて得られる貴重な体験学習といえよう。

各現場の実際の仕事の流れを的確に理解し、スムーズに研修が遂行されるよう、事前学習のクラス「マンガ制作実務演習」も準備されている。

「編集演習」では、自分たち自身の手で作品発表の場を確保するとともに、編集の実務を実践的に体験するため、編集プロフェッショナルである教員のもとで、学生の作品を掲載するマンガ雑誌の編集・制作を行う。

4年生には「批評演習」を置いている。学内マンガ学科教員のみならず、学外のプロのマンガ作家やマンガ評論家、異分野の芸術家等による公開の作品講評会を催す。外部の視点で批評し、ここでは自作品をプレゼンテーションする能力の開発も併せて養成する。

芸術学部 マンガ学科 カリキュラム概要

コンテンツとテクニックをつなぐダイナミックな教育課程

マンガ学科では、マンガを社会性の強い独自の芸術ジャンルとして位置づける。

社会・文化に対する幅広い知識・理解(コンテンツ)と、表現技術・技法(テクニック)を有機的に結合しながら学べるように、カリキュラムを編成している。

カートゥーン、ストーリー・マンガの両コースとも、「共通専門科目」で、絵画力を養うための「デッサン」「デザイン」「絵画技法」を1年次に全員履修。また、コンピューターグラフィックス制作を学ぶ「CG演習」、アニメーション制作を学ぶ「アニメーション演習」、映像作品やゲームソフト等について学ぶ「現代メディア文化論演習」などを通じて様々な表現技術を習得することができる。

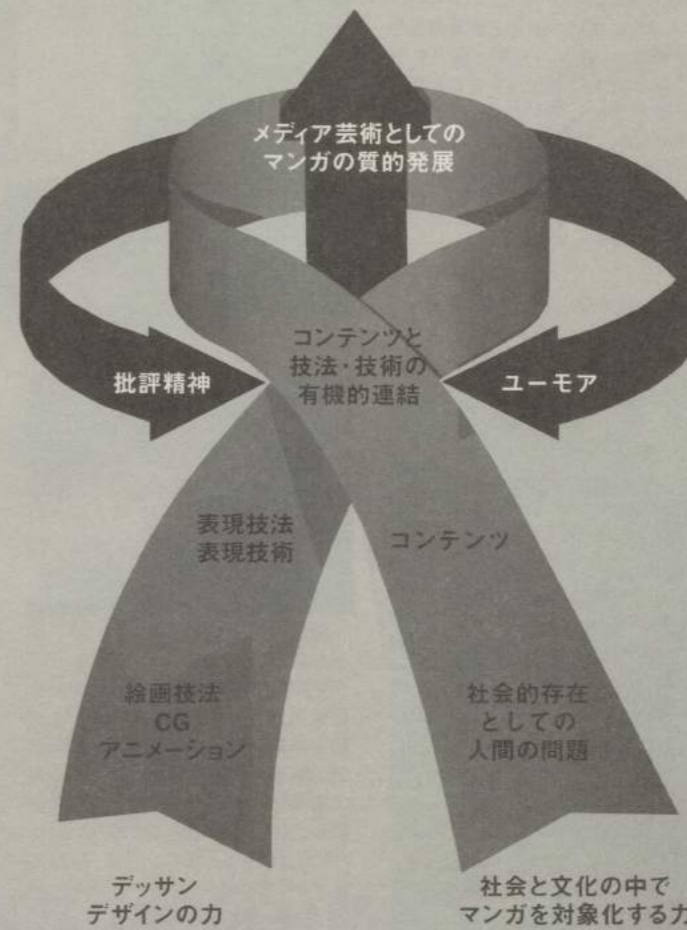
「専門講義科目」では、マンガの歴史や、現代のマンガが社会のなかでどのような位置を占めているのかなど、マンガを客観的視点から総合的に理解できるよう「マンガ史概論」「風刺画論」「メディア史」「比較マンガ論」などを設け、「脚本概論」「編集概論」「作品批評」において、作品を批判的・分析的にとらえるための論理的思考力を高める。

カートゥーンおよびストーリー・マンガの各コース科目は2年次からの履修。

「ストーリー・マンガ専門科目」では、多数のコマからなるマンガ実制作のための「脚本演習」「編集演習」で、ストーリー・マンガに必要な、物語とコマ、キャラクターと表情、絵画と言葉について学習する。

「カートゥーン専門科目」は、1枚、あるいは少数の画面のなかでコンパクトに表現するカリカチュアや、絵画性の高いイラストレーション等の制作に関わる理論と実技を「イラストレーション演習」や「風刺画演習」において徹底する。

Department of Cartoon and Comic Art



マンガ学科ではマンガを、一コマ漫画/イラストレーションから長編大河ストーリーマンガまで幅広くとらえる。さらに、印刷媒体にとどまらず、アニメ、ゲーム、様々なキャラクターグッズまでその対象領域としている。

また、一線で活躍する現役マンガ家やマンガ編集者などを、教員に迎えることで、即戦力の養成につとめる。

マンガとその関連産業は、現在国内のみならず海外も大きく成長している。マンガを形成しており、日本初の本格的なマンガ教育を受けた人材の活躍の場は幅広いものとなる。具体的には以下のような仕事が見込まれる。

まず「ストーリーマンガコース」では、マンガ家、マンガ編集者、アニメーター、ゲームソフトデザイナー、キャラクターデザイナー、フリーアナウンサー、など。

また「カートゥーンコース」では、マンガ家、デザイナーやイラストレーター、絵本作家、編集スタッフ、レイアウトアーティスト等の職種が考えられる。

マンガ世界の拡大とともに広がるマンガ学科の進路

ますます社会的要請が高まる環境問題のスペシャリスト

環境コンサルティング会社で働く 橋本 香里さん

都市と環境をコーディネートする

環境に関する調査とコンサルティングを手がける総合科学株式会社(本社:大阪)は、自治体・民間企業などの委託を受け、植生・河川・海域・大気などの調査・解析・予測・評価、環境アセスメント、都市や環境の計画・設計をおこなっている。

同社で、現在、都市計画にたずさわっているのが、人文学部一期生の橋本香里さん(93年卒業)。ここ数年は、自治体のマスタープランや公園・緑地計画の策定に取り組んできた。

橋本さんは、学生時代に自治体の青少年課が主催するキャンプリーダーのボランティアに参加した。そのことをきっかけに、まちや地域の重要性を感じ、まちづくり、地域づくりにつながる仕事に関心を持つようになった。

一方、大学の授業などを通して、開発や消費を優先する社会のあり方にも疑問を抱くようになった。その問題意識が、現在の仕事を選ぶきっかけになっている。末石富太郎先生の「生活環境論」で学んだ生活と環境の関わり、

上野千鶴子先生の「社会調査法」のなかで実践したインタビューと分析法などは、その発想や姿勢が、現在の仕事のなかでも生きている、と感じる。

都市計画や環境政策も、これまでは行政の内部で完結してしまいがちだった。しかし、住民の意見を政策のなかに反映させ、住民の理解と協力を十分に得ることが、今後はますます重要性を増すだろう。そのためには、行政と住民のあいだをつなぐコーディネーターの役割を果たす存在が求められる。

いま、仕事の方向性と意義を、そう考えている。



マンガ分野では4年次に、カートゥーンやアニメ、絵本など各自の関心領域に対応したクラスに分かれて、卒業制作に取り組む。

昨年度の牧野圭一クラスには、アニメ、カートゥーンに関心を持つ学生が集まった。牧野先生は草創期のアニメ業界に身を置いたこともあるマンガ家。多様化するマンガを、ジャンルにとらわれずに総合的にとらえるべきだというのが持論だ。

そんな先生の考えを反映してか、クラスに集まる学生も多様。もちろん風刺に満ちた一枚絵に挑戦するものもいれば、アニメ制作に取り組むものもある。アニメ制作でもまたセル、CG、粘土などいろいろな手法がとられる。

常に一貫してバイクをモチーフに、絵本・立体作品・アニメと展開させた学生などは、マンガの多様性を自分のものにしていく好例かもしれない。

マンガ分野では1、2年の間に基礎をみっちりやっている。そして、この4年生のクラスでは、何を、どこで、どう表現するか——自分で飛ぶための準備をしている。



ジャンルにとらわれないマンガ表現の追求 牧野圭一ゼミ (マンガ分野)

生活に密着した視点で環境を学ぶ 山田國廣ゼミ (人文学科)

環境をテーマにする山田國廣ゼミでは、3年生でまず「エコロジーマップ」づくりを通じて、環境調査の手法を身につける。

川の周辺環境を調査し、その結果を地図にしている。水質や生物ばかりでなく、川沿いでどんな作物をつくっているか、どんな店があるか、など、環境に文化や歴史の要素も加えて、いわば川をめぐる生活誌をつくるものだ。

4年生になると、個人各々のテーマに基づいて研究を進める。ただし、随時ゼミでの発表と討論を重ねている。

学生の取組むテーマは多様。

他自治体との比較などを通じて、京都府のゴミ問題の取組み姿勢を研究したもの。容器の再生マニュアルをつくり、実際に環境教育をやってみたもの。また、京都精華大学のISO14001取得の準備過程を調べたり、キャンパスの吸い殻について調査するなど、身近な対象を取り上げるものが多いのも特徴だ。

卒業後も、有機農業の販売促進会社に勤務したり、食材の安全性に配慮した料理店を経営するなど、環境に関連した仕事に就く例も多い。



韓国の大学でカートゥーンやストーリーマンガを教える傍ら、『ニュース・ピープル』(大韓毎日社発行)に風刺漫画を毎週掲載するなどマスコミ業界でも活躍中の高慶日さん(96年マンガ分野卒業、98年大学院修了)。

高さんは、いったん韓国で大学を卒業したが「マンガを学ぶため」に来日、マンガ分野に入学した。当時、韓国にはマンガを教える4年制大学が1ヶ所もなかったからだ。

軍事独裁政権の手中にあった韓国で学生時代を送った高さんは、矛盾だらけの政権に対する体制批判を表現する方法としてマンガを選んだ。文章

と違って、マンガは比較的親しみやすい。それに誰が見てもすぐ分かる・理解してもらえる存在。これしかないと思った。

大学時代、個展を開いた。開催に向けての準備が進む中、日韓の歴史を直視しようとする人達からの嫌がらせも経験した。こういった経験も「誰に何を言われても自分の好きなことを信念を持ってやり遂げることが一番だ」というマンガを書くことに対する信念に強く結びついている。

精華大での4年間の経験は全てが今の活動・生活に役立っている。

世界は平和に向かっているとも言われるが、実際はそうではない。世界各地で戦争は続き、多くの犠牲者が出ている。世界の平和はまだ勝ち取られていない。この混沌とした現実を背景にして、社会・政治・文明・環境を題材とする風刺マンガ家は、いやでも同時代者として時代と向き合っていくべきだと高さんは考えている。

マンガ家は時代と向き合わなければならない

高慶日さん

韓国でマンガ家として活躍する

〇 紹 介

Information 1999年度大学人事体制

新しい年度の大学運営体制が決まった。

京都精華大学の1999年度の役員者は以下の通りとなっている。

- 学長 ……………中尾ハジメ
- 教学担当学長補佐 ……松谷昌順
- 学生担当学長補佐 ……中平佳男
- 美術研究科長 ……………黒崎彰
- 人文学研究科長 ……………堤邦彦
- 美術学部長 ……………小林陸一郎
- 人文学部長 ……………大沢真一郎
- 教務部長 ……………吉村昭市
- 学生部長 ……………坪内成晃
- 広報部長 ……………斎藤光
- 国際交流室長 ……………新井清一

- 就職部長 ……………松浦逸郎
- 情報館長 ……………牧野圭一
- 図書館部門運営委員長 ……安藤邦洋
- AVセンター部門運営委員長 ……伊奈新祐
- 生涯学習部門運営委員長 ……中島勝住
- 博物館部門運営委員長 ……黒崎彰
- 出版部門運営委員長 ……鈴木隆之
- 研究所部門運営委員長 ……澤田昌人
- 情報処理部門運営委員長 ……上田修三
- 事務局長 ……………吉村守

また次の先生方が、1998年度をもって退職された。

- 村岡三郎(美術学部)
- 中島和子(人文学部)
- 橋爪伸也(人文学部)

村岡先生と中島先生は定年退職、橋爪先生は他大学に転出される。

また、本年度から、「特任教員」制度を導入した。顕著な活躍をしている作家、研究者に最長3年の期間で本学の教育・研究活動に参加してもらい、大学の活性化をはかるものだ。

本年度は、村岡三郎先生を特任教員に迎えた。

国際センターが完成

新しい建物の完成で留学生の受け入れも万全。



1999年3月、国際センターがオープンした。

国際センターは、留学生の募集活動の強化と、受け入れを充実させる目的で、旧セミナー館を改装して作られた。

高台にあるため大変景色がよく、実にゆったりと、広々としている。

1階は、学習室やグループ交換の学生のための学習室。2階は談話室があり、80人の収容が可能で、主に留学生の会議や、セミナーに使用される。3階

には、国際交流課事務室及び会議室が設置されており、ふたつの会議室のうちひとつは和室である。

海外のニュースを見られるように、衛星放送の設備もある。今後、留学生のための学習用パソコンの設置も検討中だ。

また、宿泊施設も併設しており、ベッド数は18、キッチン、シャワーも付いている。これは主に海外提携校からのグループ交換学生受け入れのために設けられている。

木野評論新刊発売中

豪華執筆陣を擁して「戦争」を特集した木野評論30号を刊行。

昨年度の秋に発行した臨時増刊号も順調な売れ行きをみせた「木野評論」。この春、第30号が刊行された。

今回の特集タイトルは「魅惑の戦争」。サブタイトルに「殺すな」の基底を問う」とあるように、戦争を見直すことのみならず、「なぜ人を殺してはいけないのか」といった根底的な問題も扱っている。

29号や増刊号同様に執筆陣の豪華さも注目を浴びている。

「戦争の「真理」と「現実」」について

討論した。巻頭座談会では、野田正彰(京都造形芸術大学教授)、西谷修(明治学院大学教授)、桂秀実(芸文評論家)、井上章一(国際日本文化研究センター教授)の各氏に、「木野評論」編集長である鈴木隆之先生(建築分野)が参加。

その他、市民運動家で作家の小田実氏、元沖縄県知事の大田昌秀氏、国際的ボランティアに取り組む秦辰也氏らのインタビューに加え、志茂田景樹氏



や、石川好氏、森毅氏らも執筆している。戦争を人類学や芸術、文化的側面からも分析、多角的に迫った、読みごたえのある一冊である。全国有名書店で発売中。

本年度も公開講座 GARDEN 開講

海外のダンサーや大林宣彦監督など多彩な講師陣で、1999年度前期講座を開講。



昨年度からスタートした京都精華大学公開講座 GARDEN。

昨年度は、辺見庸氏やホンマタカン氏など著名な講師陣で、話題を呼んだが、今年も新たなラインナップで開講される。

フランスや南アフリカから世界的に活躍するダンサー・俳優を講師に迎える「現代ダンス・演劇講座」や、尾道三部作などで知られる大林宣彦監督が、映画づくりのすべてを実践的に講義する「映

像表現講座」などが注目を集めている。

他に、短歌講座(岡井隆)、宗教論講座(笠原芳光)、英語表現講座(片桐ユズル)、身体表現講座(坂本公成他)、写真講座(宮本隆司他)、デザイン講座(佐竹邦彦)がある。

一部講座のみ5月中旬まで受付をおこなっている。

問合せ・申込みは、文化情報課 GARDEN 事務局 (TEL:075-702-5343/e-mail:garden@kyoto-seika.ac.jp)まで。

1999年度前期アセンブリアワー講演会

5月6日(木)
井筒和幸(映画監督)
「憎たらしいほど愛しい映画」

5月27日(木)
野田知佑(カヌーイスト)
「世界の川を旅する」

6月10日(木)
鷺田清一(哲学者)
「悲鳴をあげる身体」

7月1日(木)
谷村志穂(作家)
「疑問符の向こう側」

9月30日(木)
村上隆(コンテンポラリー・アーティスト)
「PO+KU ART レボリューション」

時間 14:40～16:10
場所 黎明館L101教室
入場無料 申込不要

1999年度 京都精華大学 ギャラリーフロール 展覧会 スケジュール

開館時間 10:30～18:30
(会期中は無休/最終日は17:00まで)

4月6日(火)～4月13日(火)
「映画ポスターと社会・時代・文化」展

4月16日(金)～4月30日(金)
TAIWAN AVANTGARDE
台湾空間前衛美術創作事件'99

5月3日(月)～5月8日(土)
メキシコ・ウィチヨルの人々の生活

5月10日(月)～6月6日(日)
第6回日韓大学版画交流展

6月8日(火)～6月19日(土)
ART"being"——在り続けることへ

6月21日(月)～7月18日(日)
草原の文学文化(仮)
モンゴル書道コレクション展

7月21日(水)～8月4日(水)
もの、ひと、そのあいだ(仮)

9月21日(火)～9月25日(土)
京都精華大学留学生展(仮)

9月27日(月)～10月9日(土)
ビデオ&サウンド・インスタレーション展(仮)

10月12日(火)～10月17日(日)
関西西大学合同建築展
「21世紀博物館」(仮)

10月20日(水)～11月14日(日)
型の美
江戸小紋型紙による藍染展(仮)

11月17日(水)～12月15日(水)
公募MANGA展「画家とモデル」(仮)

12月19日(日)～1月27日(木)
※12月26日～1月8日閉館
吉祥と招福のかたち
「中国民間伝承 年画展」(仮)

1月31日(月)～2月19日(土)
"Image,Gender,Nation
現代女性アーティスト(仮)"



1999年度入試について

99年度は、公募制推薦入試の出願資格を緩和しましたので、美術学部では92%増と大幅な志願者の増加となりました。その後の一般入試ではⅠ期で微減しましたが、Ⅱ期ではほぼ昨年度並みの志願者がありました。

人文学部においては、公募制推薦が昨年より20%増加しましたが、一般Ⅰ期で28%減、Ⅱ期においては43%減と、全体では志願者が減少しました。一昨年度に比べて昨年度の志願者が増加し、

倍率が上がったことを敬遠しての隔年現象とも考えられますが、18歳人口の減少や受験校数の絞り込み等の影響が明らかに表れています。特に本学の他、東京・名古屋・金沢・大阪・広島・高松・福岡で実施している一般Ⅰ期では、地方会場での受験者の減少が目立ちました。

外国人留学生入試に数多くの志願者が集まったのも今回の大きな特徴と言えます。受け入れ環境の整備を進め、国内外への積極的な広報活動を行っ

た結果、中国・韓国・台湾をはじめ、ベトナム・インドネシア・ロシアといった国々からの留学生が本学で学び始めています。

今後も、留学生をはじめ社会人や帰国生徒、偏差値やペーパーテストでは評価し得ない優れた個性や資質を総合的に評価する人文学部の自由選抜など、様々な経歴の人材が集うことで学内が活性化するように各入試の充実に努めます。

(入試広報課)

2000年度入試について

2000年度の入試においてはいくつかの変更を予定しています。これまでは定員の30%を目安にされてきた四年制大学の推薦入学枠が、50%にまで拡大される見通しです。文部省で正式に決定されれば、本学でもそれに伴い推薦入試における募集人員を美術学部では定員の50%、人文学部でも40%まで拡大します。さらに美術学部では、現役に限っていた出願資格についても「一浪まで可」となります。高等学校での評定平均3.5以上の条件は

昨年度と同じです。人文学部の出願資格は従来通り、現役(評定平均は問いません)のままです。両学部とも他大学と併願は可とします。

また、VCD分野の再編により新しくできる映像・VCD・PCDは、すべての入試において独自の出題で行うこととなります。

3年次への編入学入試においても変更があります。両学部ともに、これまで出願資格のなかった専門学校卒業生を受け入れることになりました。卒業

時に「専門士」の称号が得られる、授業時間等の一定の基準を満たす専門学校が対象ですが、これまで例がないため、受験資格や単位認定・編入年次などは個別に対応しますので詳細はお問い合わせ下さい。

なお、申請中のマンガ学科と環境社会学科の入試は認可後に行いますので、2000年1月以降実施の予定です。

(入試広報課)

京都精華大学2000年度入試日程 人文学部 人文学科

試験種別	出願期間	試験日	試験科目	試験会場
自由選抜	1999年10月1日～10月8日	10月30日	書類審査(1次)・自己表現(2次)	京都精華大学
公募制推薦	1999年11月1日～11月12日	11月20日	論文	京都精華大学
一般Ⅰ期	2000年1月17日～2月1日	2月11日	論文方式/2科目選択方式	京都精華大学・地方
一般Ⅱ期	2000年2月14日～2月28日	3月6日	論文方式/2科目選択方式	京都精華大学
留学生・帰国生徒(秋期)	1999年6月21日～7月8日	7月17日	面接・小論文	京都精華大学
編入Ⅰ期	1999年10月1日～10月14日	10月23日	英語(留学生は日本語)・面接・小論文	京都精華大学
留学生・帰国生徒・社会人(春期)	1999年11月22日～12月2日	12月11日	面接・小論文	京都精華大学
編入Ⅱ期	2000年2月1日～2月15日	2月22日	英語(留学生は日本語)・面接・小論文	京都精華大学

京都精華大学2000年度入試日程 美術学部 造形学科・デザイン学科

試験種別	出願期間	試験日	試験科目	試験会場
公募制推薦	1999年11月1日～11月17日	11月27日～11月28日	専攻分野別適性検査	京都精華大学
一般Ⅰ期	2000年1月11日～1月25日	2月2日～2月5日	実技A・実技B	京都精華大学
一般Ⅱ期	2000年2月10日～2月23日	3月1日～3月3日	英・国・専攻分野別試験	京都精華大学
留学生・帰国生徒・社会人	1999年11月22日～12月2日	12月11日	面接・実技・小論文(帰国生徒)・日本語(留学生)	京都精華大学
編入	1999年11月29日～12月10日	12月18日	面接・作品審査・日本語(留学生)	京都精華大学

木野通信第31号

1999年5月10日発行

京都精華大学

京都精華大学 情報館 文化情報課 〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137 TEL 075-702-5343